

兵庫県で記録の少ないキリガ亜科 4 種

阪上 洸多¹⁾・徳平 拓朗²⁾・菅澤 祥史³⁾

ヤガ科キリガ亜科は灯火や糖蜜で採集され(江崎, 1971), 兵庫県下でも多くの種が記録・報告されてきた(高島, 2001). 兵庫県でこれまで記録がないか極めて少ないキリガ亜科 4 種について, その採集記録を報告する.

1. オオモンキキリガ (図 1) *Xanthia tunicate* Graeser

兵庫県美方郡香美町村岡区大笹ハチ北高原 Alt. 810m, 2014 年 9 月 28 日, 1ex., 阪上洸多, 灯火採集

本種をはじめ, *Xanthia* 属はもともと北海道, 東北地方, 関東地方, 中部地方に分布する種として知られており(岸田, 2011), 筆者の知る限り近畿地方での記録はこれまで報告されていなかった. 採集地のハチ北高原には, 寄主植物であるハルニレが自生しているため発生していると考えられる. 西日本の他の場所でもハルニレが自生しているなら発生している可能性がある.

2. エゾキイロキリガ *Tiliacea japonago* Wileman & West

兵庫県美方郡香美町村岡区大笹ハチ北高原 Alt. 810m, 2014 年 9 月 28 日, 4exs., 徳平拓朗, 1ex., 菅澤祥史, 灯火採集

本種は日本では北海道, 東北地方, 中部地方, 佐渡島,

四国での分布が知られており(岸田, 2011), 近畿地方での記録はこれまで知られていなかった. ハチ北高原には本種の寄主植物であるシナノキが自生しているため発生している可能性が高い.

3. ヒロバモクメキリガ *Xylena changi* Horie

兵庫県宝塚市武田尾 Alt. 170m, 2008 年 3 月 9 日, 1♂, 阪上洸多, 糖蜜採集

本種は日本では本州(関東地方南部以西), 四国, 九州, 屋久島に分布する(岸田, 2011). 本種は 1993 年に台湾で記載され, 1995 年には日本にも分布することが確認された(岸田, 2011). 本種はハネナガモクメキリガ *Xylena nihonica* Hōne との外部形態の差異は小さいため, 1995 年以前はハネナガモクメキリガとされていた可能性が高い. これまで兵庫県では本種が分布しているかは確認されていなかった(高島, 2001). 本報告では, ♂交尾器に基づいて同定し, 兵庫県下での分布を確認した(図 2). また, ハネナガモクメキリガも同所的に採集されている.



図 1 オオモンキキリガ (開帳 40.5mm).



図 2 今回同定されたヒロバモクメキリガの♂交尾器. 矢印で示した部分が二又に分かれていないのがハネナガモクメキリガとの識別点である(岸田, 2011). スケールは 2 mm を示す.

¹⁾ Kōta SAKAGAMI 神戸大学農学部; ²⁾ Takurō TOKUHIRA 神戸大学農学部; ³⁾ Yoshifumi SUGASAWA 向陽台高校

4. カタハリキリガ *Lithophane rosinae* Püngeler

兵庫県宍粟市波賀町, 2014年4月26日, 2exs., 阪上洸多,
灯火採集

本種の分布は日本では北海道および本州(東北地方, 中部地方)が知られている(岸田, 2011). 兵庫県においては, これまで1975年の引原(宍粟市波賀町)での1例のみの記録しかなく(高島, 2001), 定着しているか定かではなかった. もともと知られている分布から北方系の種であると考えられ, 兵庫県の山地には広く分布していると思われる.

末筆ながら, 本稿を校閲して下さった杉浦真治准教授(神戸大学)にお礼申し上げます.

参考文献

- 岸田泰則(編), 2011. 日本産蛾類標準図鑑II, 学研
高島昭, 2001. 兵庫県のセダカモクメ亜科, きべりはむし, 29(1): 34-49.
江崎悌三・一色周知・六浦晃・井上寛・岡垣弘・緒方正美・黒子浩, 1971. 原色日本蛾類図鑑(下), 保育社